



発表会の様子（写真）↓  
<http://isc.shinshu-u.ac.jp/shasin/shin06/sup06/pre1.htm>  
研修旅行の様子（写真）↓  
<http://isc.shinshu-u.ac.jp/shasin/shin06/sup06/kiso1.htm>

---

#### ☆オクラホマ州立大学と国際学術交流協定を締結

英語圏への交換留学先大学が少ないという学生からの声にこたえ、去る12月13日、新たに米国オクラホマ州立大学との間に国際学術協定が締結されました。

信州大学からは中嶋学長補佐、橋本副学長・篠崎国際交流課長が現地へ。オクラホマ州立大学の広大なキャンパス風景、学内施設、協定締結書取り交わし式の様子などが、信大公式サイトに写真付きで紹介されています。ぜひご覧ください↓  
<http://jimuwwww.shinshu-u.ac.jp/photo/2005/05p1213osu/>

オクラホマ州立大学の公式サイト↓  
<http://osu.okstate.edu/>

---

#### ☆信州大学の新しいシンボルマーク決定！

前号でもお知らせしましたが、信大の学章（シンボルマーク）が新しくなります。一般公募411点の中から最終的に選ばれたデザインは、緑のグラデーションで描かれた鳥をモチーフとした、すっきりとした印象のものです。

詳細はこちらで↓  
<http://www.shinshu-u.ac.jp/html/news/2005/vi/index.html>

---

#### ☆「グローバリゼーションと国際協力」全予定を終了

研究推進課と国際交流課がオーガナイザーとして企画、実施してきた連続公開講座「グローバリゼーションと国際協力」の最終回（第八回）が2月6日（月）に行われ、10月からの全予定を終了しました。

かけがえのない私たちの地球=Globeの仕組みを理解し、宇宙船地球号の1乗組員としてともに解決策を考える」という主旨のもと、研究推進課、国際交流課がオーガナイザーとして企画、実施してきた本講座は、JICA（独立法人国際協力機構）関係者を含む、国際協力の様々な分野に携わる講師を招き、全てのキャンパスを衛星システムでつないで実施されました。

全8回の講座で延べ200名を超える参加があり、国際協力の現場からの貴重な情報に熱心に耳を傾けていました。

講演会内容と写真↓  
<http://isc.shinshu-u.ac.jp/others/jica.htm>

---

#### ★信大NOW37号のご案内

☆総務部発行の「信大がよくわかる」広報誌。  
今回のテーマは「戦後60年」が終わっても、忘れないでください」

全文はこちらでご覧いただけます↓  
<http://www.shinshu-u.ac.jp/html/now/>

#### 今号の目次

■特集：「60年前の学生を追え！」  
35、36、37号連続企画の最終回は、60年前の戦時期に、教育学部、工学部の前身にあたる学校で60年前に学んでおられたOB/OGの方々へのインタビュー、そして現役学生たちとの座談会の様子がレポートされています。

OB/OGの皆さんの生の体験を生の語りで聞くことによって、今の学生が多くを感じ、考え、そして今度は自分が伝える側として何をすべきかを模索し始めた様子に、今回の企画の貴重さを感じます。

■Let's go! 公開講座：「ひらめき☆ときめきサイエンス」  
高校生が大学で行われている最先端の研究成果の一端を体験するという参加型のユニークな催しのレポートです。

繊維学部で行われた「感性を紡ぐ繊維技術」にはノーベル賞受賞者の白川秀樹教授も

訪問するなど、高校生たちは大いに啓発されたよう。彼らの将来も楽しみです！

■ SCIENCE NOW : <第50話> 研究室紹介

「100万年前の地球の言葉を聞きたい、南極で3000mの深さの氷を掘っています」  
理学部物質循環学科 鈴木 啓助 教授（水文学、雪氷学）

■ Information（イベント、公開講座などの案内・報告）

■（新）健康談話：「耳鳴りの話」

---

★信州生活ちょっとコラム（ことば編）

---

☆「水やり」でなく「水くれ」

---

信州に住んでもうすぐ2年になります。  
その間、信州のことばって、東北や九州のように「何言ってるか全くわからない…」  
ということはほとんどないのですが、時々「ん？」と思う場面はやっぱりあります。

その一つが「くれる」ということば。

「どこ行くの？」  
「ちょっと水くれ」  
「・・・？」

バケツとひしゃくを持って畑へ向かう祖母を見てようやく「水やり」のことだと理解。  
年代にもよるのですが「あげる」「やる」というのを「くれる」って言うんですね。  
「お子さんにこれ、くれてやって」とお菓子をいただいたりすることも。

今でこそ慣れてしまいましたが、最初はヘンな感じがしたことをよく覚えています。  
皆さんもそんな経験ありませんでした？

---

★お詫びとお願い

---

本メールマガジンの第1号、第2号をお送りした際、メール本文の最初の部分に  
ヘッダ情報の一部が誤って表示されてしまいご迷惑をおかけいたしました。  
この場を借りてご報告とお詫びをさせていただきます。

なお、配信先は信州大学の留学生OB／OGの方々および教職員となっており、  
全くの部外者への流出はないものと思われまます。

調査の結果、原因はメーラーの不具合によるものと判明したため、  
今回はメーラーを変更して送信しておりますが、配信方法については、引き続き試行錯誤  
しながら改善をしていく予定です。細心の注意を払って作業にあたる所存ですが、  
お気づきの点、不具合等ありましたら、ご遠慮なくご指摘ください。

メールマガジンという新しい試みを軌道に乗せ、元留学生の皆様と信州大学との  
有効なコミュニケーションツールとして定着させていきたいと思っておりますので、  
今後ともご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

\*\*\*\*\*  
配信元：信州大学国際交流課（文責：飯沼）  
mailto:iad@shinshu-u.ac.jp

ご意見、各種情報の投稿などお待ちしております

知り合いの卒業生の方などで配信を希望される方があればご紹介下さい

配信停止、メールアドレスの変更のご希望は、  
お名前、信州大学在籍中の学部、メールアドレスを明記のうえ、  
iad@shinshu-u.ac.jpまでご連絡下さい

\*\*\*\*\*